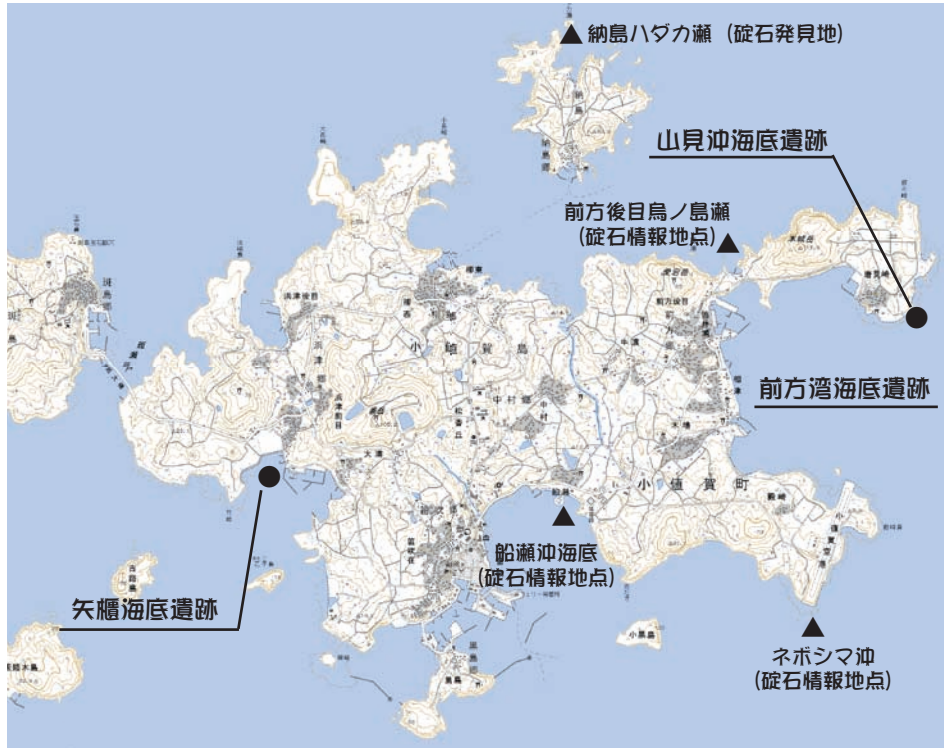


# 小値賀島周辺海底遺跡位置図



(国土地理院発行 2万5千分の1地形図から)

## The Project of "the Museum of Underwater Site"

### 海底遺跡ミュージアム構想 —小値賀島周辺海底遺跡—



#### 目的 & 概要

海底にも貴重な文化遺産が数多く眠っています。しかし、それらの多くはふつう目に見ることができません。そのため、人知れず破壊され、すでに失われたものも少なくありません。

私たちはこれまでそうした海底の遺跡の調査や研究を行ってきました。そして、より多くの人たちに海底の遺跡を知ってもらうために海底の遺跡をまるごと野外博物館とする構想をかげました。これが「海底遺跡ミュージアム構想」です。

構想の実現の場として、長崎県の五島列島の小値賀島を選びました。小値賀島の周辺には多くの海底遺跡や遺物があります。まず海底の遺跡や遺物、調査の様子を実際に多くの人に見てもらい、海底遺跡をとおして、海とともにあった生活や海を介した交易の姿を想像して頂きたいと思えます。

小値賀はとても美しい島です。海底遺跡はもちろんですが、自然の海の美しさを楽しんで頂き、一人でも多くの方が海底の遺跡に関心を持ち、我々の構想に賛同して頂けることを願っています。

NPO 法人アジア水中考古学研究所



NPO 法人  
アジア水中考古学研究所

810-0001

福岡市中央区天神4丁目5番10号

チサンマンション第2天神1110号

TEL & FAX 092-725-0171

<http://www.h3.dion.ne.jp/~uwarachae>

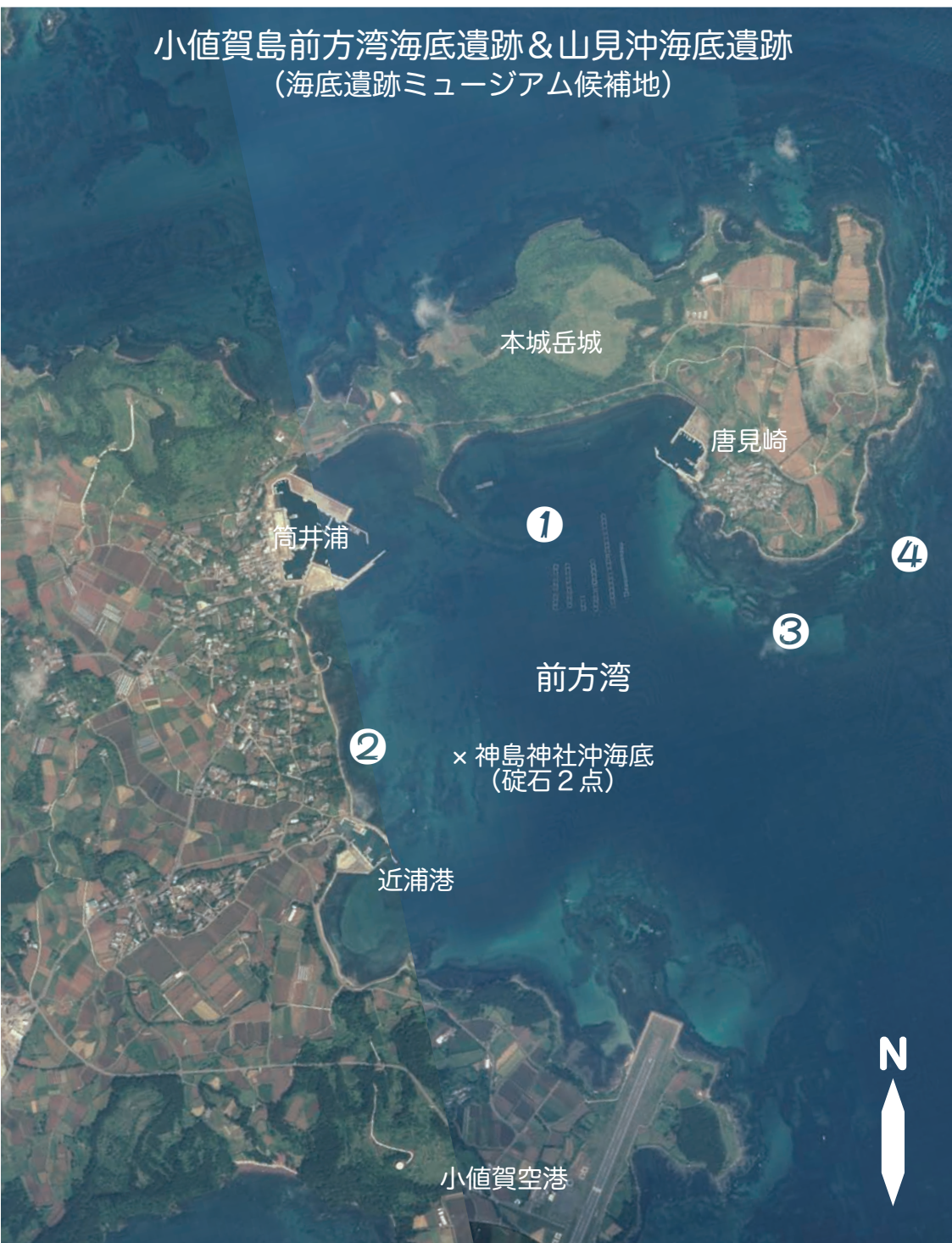
[kosuwa@h6.dion.ne.jp](mailto:kosuwa@h6.dion.ne.jp)

MEMO



この「海底遺跡見学会の開催と水中考古学の推進」事業は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。

## 小値賀島前方湾海底遺跡&山見沖海底遺跡 (海底遺跡ミュージアム候補地)



(海上保安庁海上情報部空撮写真から)

### 見学ポイント① クスクリ崎沖

水深 10 m 前後で、湾の奥のため大潮でも潮流の心配はありません。クスクリ崎より延びた根に沿ってゴロタ石が集積し、周辺は砂底質にゴロタ石が点在しています。折れた碇石が 2 本あり、周辺には平安～鎌倉時代初め頃の中国陶磁器が多く発見されています。ガンガゼが多く、中性浮力と着底場所には注意が必要です。

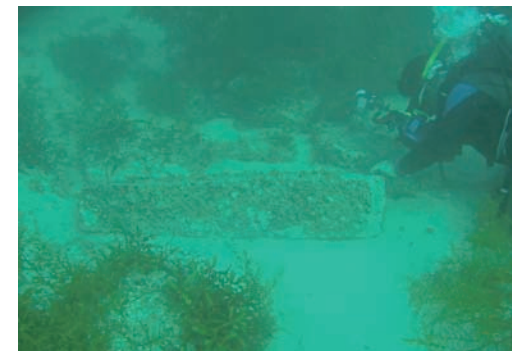


### 見学ポイント② 波止場?? 船着き場??

前方湾に面する「地ノ神島神社」の参道を下りた先は前方湾の海であり、その先はさらに野崎島の「沖ノ神島神社」に向かっています。いつの時代のものかわかりませんが、参道の脇には石垣を築いた波止場のようなものが残っています。船で参拝しに来るためのものでしょうか。

### 見学ポイント③ 赤丸瀬

赤丸瀬の南西側、水深 6 m 前後で、砂底質に岩が点在し海藻が多く生えています。元々 1 本だった碇石が中央部で折れて 5m 離れてあります。前方湾に出入りする船が、座礁を避けるために投錨したものでしょうか? 湾の開口部にあり、潮流には注意が必要です。



### 見学ポイント④ 山見沖海底遺跡

唐見崎の南東沖、水深は 5 m 以下で、瀬や根が多く点在します。日本の戦国時代～江戸時代初め頃のタイ産の壺類が多数散在し、中国の陶磁器も発見されています。野崎島との海峡にあり、普段でも潮の流れが強く、大潮時の調査は困難を極めました。

